

## 2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36208	キッズファッション Kids Fashion	長谷川えり子		専門	1	選択	1, 2後期
<b>科目の概要</b>							
子供服の種類とアイテムを学修し、大人服との違いを捉える。子供の身体の成長に合った子供服のあり方について、年齢別、性別により考え、最適なスタイルを提案する。また、子供の行動特性からみた機能的な側面を検証したデザインについて、実際の製作の中で獲得した知識を活用して独自の発想により表現する力を養い、専門的技能を習得する。G F P (Gakusen Fashion Prime) を活用して制作実習を進める。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 子供服の種類を知り、概要と特徴を学修する。 ② 子供服の機能性を捉えた適切なデザインを学修する。 ③ 子供服の製作を通して、製作技術、デコレーションの手法を習得する。				① 年齢別の子供服の種類と特徴を説明できる。 ② 子供服に必要な機能性を捉え、子供服に適したデザインを行うことができる。 ③ 子供服の製作を通して、デザイン・形を理解し、子供らしい形を表現することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	子供服のアイテムやデザインを自ら進んで調べる。教員が提示した社会人基礎力の能力要素を授業中に意識して発揮する。					
	働きかけ力						
	実行力	製作に際しては、毎時間どのように取り組んだら良いのかを考え、達成に向けて行動する。					
考え抜く力	課題発見力	達成目標に向けて、より良い作品を制作する過程で現在取り組むべき課題を見つけて取り組む。					
	計画力						
	創造力	アイテムの制作では、創意工夫してアイデアを考え実践する。					
チームで働く力	発信力	製作作品において、自己表現したいことを明らかにして取り組む。					
	傾聴力	教員の説明は、しっかりとメモを取りながら聞き、わからないことは積極的に質問する。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：なし 教員作成の資料により進める 参考文献：服飾造形8 子供服（文化出版局）							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：ファッションビジネス論、ファッションコーディネート演習、やさしいソーイング 資格との関連：なし							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
日常生活における子供の生活に目を向けて、行動特性について考えよう。また、子供服売り場にも足を運び、商品構成や商品展開の現状をとらえよう。				演習授業であるので欠席しないこと。欠席した場合は、次の授業までに課題を行うこと。 製作では、必要な用具（針、糸、はさみ等）を持参すること。実習教材費：子供服、小物材料費（約2000円）			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
	小テスト	0	①			
			②			
			③			
	レポート	20	①			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製作方法をまとめた製作記録はわかりやすく図を加える。再度、製作ができるように、製作ポイントを明確にしてまとめる。提出プリントは教員が内容を評価して、次回に繋がる指示を書き込んでフィードバックする。</li> </ul>
			②	✓		
③			✓			
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製作した作品に対して、完成度（縫製のきれいさ、出来映え）、デザイン性（バランス、オリジナリティ）を評価する。</li> <li>・ 第9回～13回の内容について、製作した作品のデザイン性、独自性、コーディネートを確認するためにプレゼンテーションを行う。学生相互に良い点を評価し合う。</li> <li>・ 製作にあたっては、これまで学修した知識を活用して、いくつかの課題に対して自分なりに解決の糸口を見出して進めていく。製作過程の気づきを製作記録にまとめる。</li> </ul>	
			②	✓		
			③	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>（主体性） 課題を積極的に取り組み、作品に活かされているかを製作した作品より評価する。</li> <li>（実行力） 教員が示した達成目標に対する実行状況を振り返りシートより評価する</li> <li>（課題発見力） 製作で上手くいかなかった点について、分析ができているかを制作記録により確認する。</li> <li>（創造力） 既存のデザインにとらわれず、新しい発想のもとデザイン提案できたかを作品により評価する。</li> <li>（発信力） 成果発表では、テーマに合ったキッズファッションの提案ができたかを評価する。</li> <li>（傾聴力） 教員の説明をしっかりと聞き、スムーズに製作を進めることができているかを評価する。</li> <li>（規律性） 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。</li> </ul>	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：子供服の概要を捉え、自分の作りたいデザインを考え、製作することができる。製作を通して、バランス感覚、ファッションセンスを磨き、子供らしいファッションコーディネートを提案することができる。</p> <p>S：上記に加え、作品の完成度、講評会での評価が高く、製作記録がしっかりまとめられている。</p>	<p>B：子供服の種類を知り、授業で学修したアイテムを製作することができる。製作を通して、スキルを身につけ、キッズファッションスタイルをコーディネートすることができる。</p> <p>C：上記の基準に対して、製作はできているが作品の仕上がりが悪く、製作活動に対して消極的な姿勢が見られる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業の進め方について 子供服の概要と特徴について	講義 授業の進め方について 子供服の概要と特徴について、PPにより映像を交えて解説する。	授業の進め方について 子供服の概要と特徴について	(予習) シラバスの内容を読み理解する。 (復習) 子供服の種類を調べる。	60	傾聴力
2	ベビー服の種類と形の特徴 トドラー服の種類と形の特徴 0歳児から3歳児までの身体の成長を学修する。	講義と演習 PPにより内容を解説後、ベビー、トドラー服を調査し、プリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	ベビー服、トドラー服の種類を知り、形を説明することができる。	(予習) 自分が着用していた写真からベビー服、トドラー服の形を調べる。 (復習) 実際に売られている服の状況を調査する。	60	主体性 傾聴力
3	少年・少女、ローティーンの種類と形の特徴 4歳児から15歳児までの身体の成長、性別による違いを学修する。	講義と演習 PPにより内容を解説後、キッズ服を調査し、プリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	少年・少女の子供服とローティーンの子供服の違いを説明することができる。	(予習) 少年、少女の服の色を調べる。 (復習) 実際に売られている服の状況を調査する。	60	主体性 傾聴力
4	子供の生活と行動様式について① 年齢別の子供の生活について調査し、プレゼンテーションの準備を行う。 (グループワーク)	演習 教員の説明後、グループに分かれて調査し、PPにまとめる。	子供の生活について、一日のながれと特徴をまとめることができる。	(予習) 子供の生活のながれを調べる。 (復習) 作成したPPを見直し、発表原稿を考える。	60	実行力 課題発見力
5	子供の生活と行動様式について② 年齢別の子供の生活について、グループでまとめた内容を発表し、検討する。	演習、プレゼンテーション グループ発表 PPにより各テーマを発表する。	子供の生活と行動様式について発表することができる。他の発表と比較して特徴を述べることができる。	(予習) 作成したPPに合わせて、発表の練習を行う。 (復習) 年齢別にみた生活行動の違いをプリントにまとめる。	60	課題発見力 発信力
6	子供用小物の製作① 帽子、またはスタイを製作する。	演習 PPにより教員説明後、パターンを作成する。	子供用小物のパターンを作成することができる。	(予習) 自分の0~3歳の時の写真から小物のデザインを調べる。 (復習) 乳児服の小物のデザインの特徴をまとめる。	60	実行力 創造力
7	子供用小物の製作② 帽子、またはスタイを製作する。	演習 PPによる教員説明後、裁断、印つけを行う。	教員が指示した裁断、印付けができる。	(予習) 製作するアイテムの形を理解し、材料を準備する。 (復習) 本日の実習の内容を振り返りまとめる。	60	実行力 創造力
8	子供用小物の製作③ 帽子、またはスタイを製作する。	演習 PPによる教員説明後、縫製を行う。GF Pを活用して製作に取組む。	教員が指示した方法で縫製することができる。	(予習) 子供用小物のデザインを調べる。 (復習) 本日の実習の内容を振り返りまとめる。授業内で完成できない場合はGF Pを活用して製作する。	60	実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	子供用小物の製作④ 小物のデコレーションを考え、作成する。	演習 教員の製作方法説明後、各自製作実習する。 製作記録提出後にフィードバックする。	アイテムの形を理解して、デコレーションすることができる。	(予習) デコレーションの内容を考える。 (復習) 製作記録をまとめる。	60	実行力 課題発見力 規律性
10	子供服(リバーシブルベスト)の製作① 製作する形に合わせてパターンを作成する。	演習 PPによる教員の製作方法説明後、各自製作実習する。	子供服のパターンを作成することができる。	(予習) 子供服の種類とかたちを調べてまとめる。 (復習) 製作記録をまとめる。	60	実行力 規律性
11	子供服の製作② 裁断と印つけ 製作するアイテムに合わせて材料を選定する。 裁断と印つけを行う。	演習 教員の製作方法説明後、各自製作実習する。 製作記録提出後にフィードバックする。	教員の指示した裁断と印つけができる。	(予習) 製作するアイテムの形を理解し、材料を準備する。 (復習) 製作記録をまとめる。	60	主体性 実行力
12	子どもの服の製作③ 縫製: 肩線、脇、ウエスト、袖ぐり、裾の処理	演習 教員の製作方法説明後、各自製作実習する。 GF Pを活用して製作に取り組む。 製作記録提出後にフィードバックする。	縫製処理を施し、裾は適切にまつり縫いすることができる。	(予習) 自分の手持ちの服の構成をプリントにまとめる。 (復習) 製作記録をまとめる。 授業内で完成できない場合はGF Pを活用して製作する。	60	主体性 実行力
13	子供服の製作④ デコレーション (ビーズ、スパンコール、飾り花等の装飾)	演習 教員の製作方法説明後、各自製作実習する。 製作記録提出後にフィードバックする。	デコレーションパーツを使用して、装飾することができる。	(予習) 装飾がある子供服の画像を収集する。 (復習) 製作記録をまとめる。	60	実行力 創造力
14	製作作品まとめ オリジナル作品の活用シーンを検討し、コーディネート提案を行い、マップに表現する。	演習 制作したアクセサリの活用を考えたコーディネート提案する。 提出後にフィードバックする。	完成作品をコーディネートし、イメージするマップを考案することができる。	(予習) 作品に合わせてコーディネート例を考える。 (復習) コーディネートの実際をシミュレーションする。	60	実行力 創造力 発信力
15	オリジナル作品講評会 制作した作品を発表する。 他の学生制作作品を比較検討し、お互いに評価する。	演習、プレゼンテーション 作品について、デザインの特徴、コーディネート提案を発表する。全員の作品について、講評会を行い、終了後にフィードバックする。	作品を発表し、他の作品を評価することができる。	(予習) 発表原稿を考え、まとめ、練習する。 (復習) 課題プリントをまとめる。	60	発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力